╔ ╓ ₺ Δ ■ ┤ ∑ ╣ ≠

UDC 624.023.86 : 624.04

セルラー構造物の力学性状に関する基礎的研究

Fundamental Study on the Statical Behavior of Cellular Structures

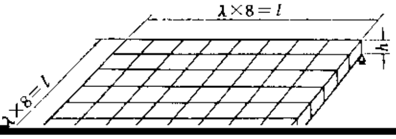
三 好 弘 高* 大 方 茂**
Hirotaka Miyoshi Shigeru Okata

Synopsis:

With an aim of investigating the statical behavior of cellular structures, thereby

ごとの板要素を細かく分割し，さらに面内の曲げ剛性（以下面内剛性とよぶ）と面外の曲げ剛性

2·1 模　型



とくである。

(1) 支持条件と載荷条件

模型の4隅点を単純支持したうえで, **Fig.2**

$P=60$kgを載荷して同様な過程をくり返し，

ことを考慮し，3体の予備模型体にそれぞれ

され，特殊な実験装置が必要となるため，目下の [illegible] である

関数をつぎのように仮定する。(**Fig. 10** (a))

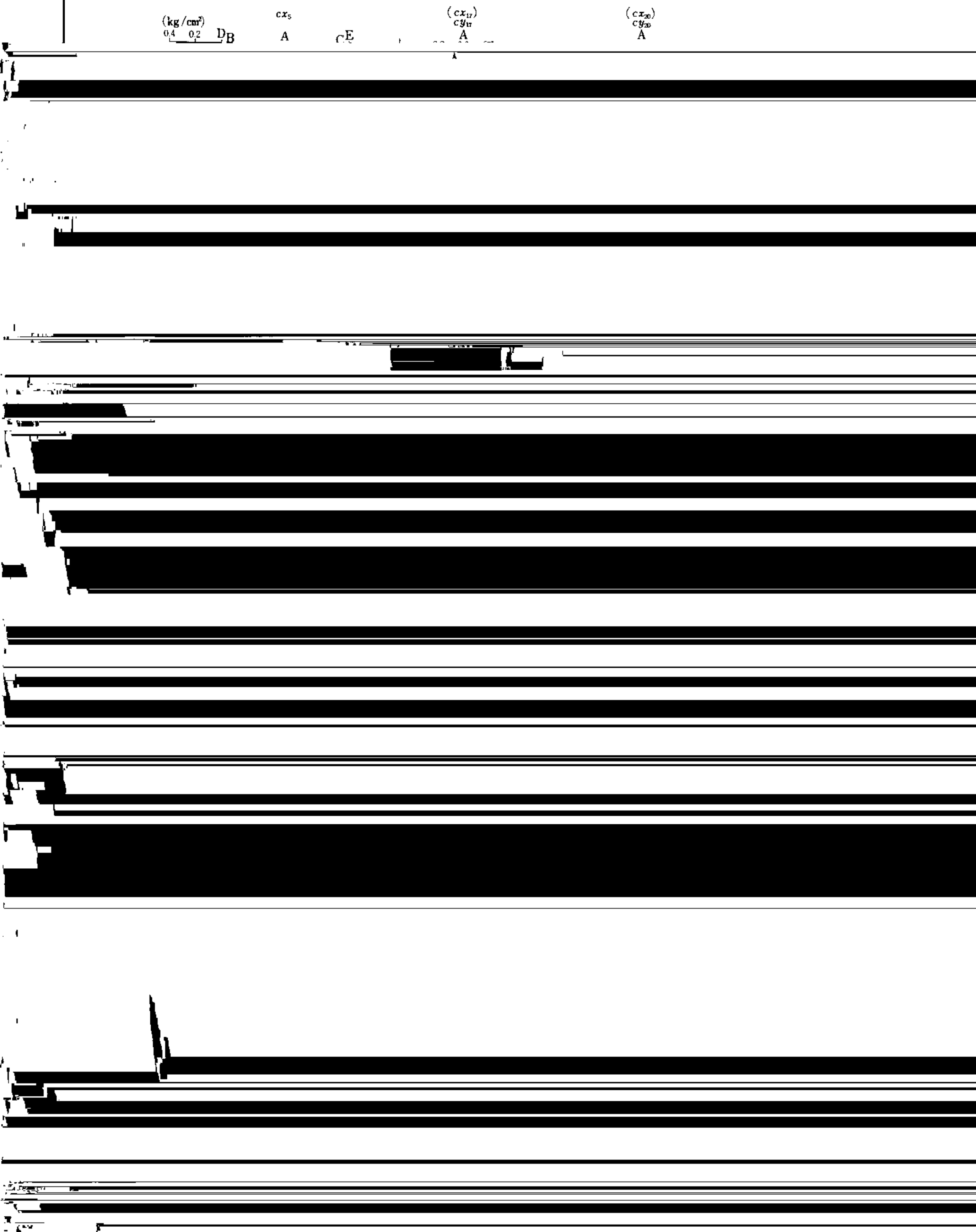
したがって，要素全体の内部仕事は次式で表わされる。

$$W_i=\int_A \{\varepsilon\}^T\{\sigma\}dA \quad \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots (11)$$

以上で，要素剛性行列 $[K]_e$ が求まり，構造全

なお式中．N_{ir}，$N_{i\omega}$，N_{iz} はそれぞれ節点にお

cx5
cx6
cx7
cx8


(kg/cm²)
0.4 0.2
D B
cx5
A
C E
(cx17)
cy17
A
(cx20)
cy20
A

参考文献

1) [illegible]